



『ほおずき』川島 照代 画

理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

第21回九州高気圧環境医学会を開催

社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院

院長 川島 眞之

令和3年7月3日に中津市のヴィラルルーチェにおいて、第21回九州高気圧環境医学会を開催いたしました。当院で本学会を開催するのは、第4回(2003年・川島眞人学会長、第12回(2011年・田村裕昭学会長)に次いで3回目となりました。もともとは令和2年7月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス

ス感染症のパンデミックにより延期となっていました。学会テーマ「捲土重来」は「一度敗れた者が、再び勢いを盛り返して巻き返す」という意味ですが、唐の詩人・杜牧(とぼく)が「烏江亭(うこうてい)」に題す」と

りますが、日本では長年にわたり、国際的にみても異常に低い診療報酬が設定されてきたために治療装置数は減少傾向にありました。しかしながら、多くの関係者のご尽力によって2018年診療報酬改定にて診療報酬点数が漸く改善され、改めて積極的な活用が可能となりました。今後はより効果的な治療方法などエビデンスを積み重ねていくことが必要になると思います。また、ワクチン接種が進む中、コロナからの再起も期待したいと思えます。

本年に入っても引き続き世界的なパンデミックが続いていますが、今年の本学会はウェビナーを使用したハイブリッド開催を目指し、もし感染が蔓延した場合でもウェブ開催を視野に準備を進めてきました。5月には感染の第4波がみられました。が、幸いにも開催前には感染も小康状態となったため、予定通りのハイブリッドで開催することができました。コロナ禍にもかかわらず、現地参加・ウェブ参加あわせて100名以上の方にご参加いただきました。

拓く医療・介護の新世界」と題して特別講演をいただきました。この分野の第一人者である先生には、光マイクロバブルの基礎から今日に至る発展、そして未来について夢のある話を行っていただきました。さらに、ランチョンセミナーでは昨今話題の医療AI分野より、株式会社木許森メデイカルホールディングス代表取締役の木許心源先生に「医療におけるDXとSDGsのあり方」と題してご講演頂き、近未来ではAIによってより人間的な医療・介護の提供が可能となることや現在進行中の様々な取り組みについてご紹介いただきました。当院からは川島眞人理事長が「コロナパンデミックの予防とオゾンナノバブル」と題し、新型コロナウイルス等の感染症に対しても効果が期待されるオゾンナノバブルについてショートレクチャーを行いました。

学会スタッフ一同で



多くの子弟を生還させることができず、親たちに合わせる顔がないと、項羽は数十人の兵士と共に敵陣に切り込んでいき、烏江で自決しました。後に杜牧が烏江亭を訪れた際に、自決当時まだ30歳であったといわれる若い項羽をしのび、「捲土重来 未だ知る可からず(もし、再び戦ったら、結果はどうなったかわからないのに)」と詠んだそうです。高気圧酸素治療においては、中国やアメリカをはじめ多くの国々で糖尿病性壊疽などに広く適用されており、治療装置数も増加する一方であ

多くの子弟を生還させることができず、親たちに合わせる顔がないと、項羽は数十人の兵士と共に敵陣に切り込んでいき、烏江で自決しました。後に杜牧が烏江亭を訪れた際に、自決当時まだ30歳であったといわれる若い項羽をしのび、「捲土重来 未だ知る可からず(もし、再び戦ったら、結果はどうなったかわからないのに)」と詠んだそうです。高気圧酸素治療においては、中国やアメリカをはじめ多くの国々で糖尿病性壊疽などに広く適用されており、治療装置数も増加する一方であ

今回の特別講演の一つは、中国の上海交通大学の石路准教授に「中国における高圧医学および潜水医学研究の現状〜海底1万メートルへの挑戦〜」と題して中国の最新の潜水医学につい

最後に本学会にご参加いただいた全ての皆様、ご協賛いただいた関係者の皆様、そして準備・運営に尽力いただいたスタッフの皆様はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



上海交通大学の石路先生

新型コロナウイルス感染症とその行方

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 眞人

2021年6月13日、国立京都国際会館で開催された「第58回日本リハビリテーション医学会学術集会」(会長 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座・田島文博教授)において、「医学史から見た新型コロナウイルス感染症とその行方」と題して教育講演したので報告する。

2019年12月31日、中国武漢で公表された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がり、5月16日現在、世界中で1億6千万人が感染し、335万人が死亡するというスペイン風邪以来のパンデミックとなり、日本においても67万9千人が感染し、1万千人が死亡する事態となり、今なお感染症との闘いが続いている。更には変異ウイルスも加わり、より強い感染力と重症化が心配されるが、横浜市立医科大学・山中竹春教授によると、ファイザーが開



キクガシラコウモリ

発したワクチンが2回目の接種で、イギリス株、インド株、南アフリカ株、ブラジル株に対しても90%を超す効果があり、しかも中和抗体が1年以上持続するという一方で、かすかな光が見えてきた。問題はワクチンの接種率が中々進まないということである。その様な中で、医学史からみた新型コロナウイルスについて考察してみたい。

『感染症の世界史』を著述した石弘之先生の報告によると、コロナウイルスの起源は、紀元前8000年、牧畜の開始とともに始まり、西アジアで羊、山羊、豚の飼育で人と動物の密接な接触が起源といわれる。既

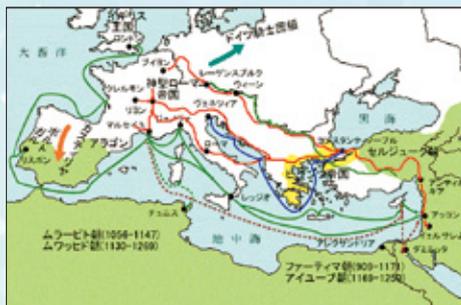
に2012年には、中国の雲南省の鉱山でコウモリの糞を清掃した作業員が重症肺炎を発症したことが、ネイチャー誌に報告されており、コウモリと何かの関係があるのではないかと考えられている。このコウモリのウイルスと今回の新型コロナウイルスの遺伝情報とが96%一致するということがウイルスの分析から判明している。しかしながら、これがどこでどう結びついたかは判明していない。中国政府も発生源であることを否定しており、コロナの起源については論争が続きそうである。

コロナウイルスはもともとキクガシラコウモリが持つているウイルスであり、近年ではハクビシンのSARS、ヒトコブラクダのMERSなどコロナウイルス感染症と動物の可能性を多くの学者が強く指摘している。このコロナウイルスは日本においても1960年代から風邪のウイルスとして知られており、SARS、MERSに続いて、今回は7つ目の感染症である。コロナといわれる所以は表面に花弁状の突起があり、太陽のコロナ(王冠)

のように見えることから命名された。航空機をはじめ交通手段の発達により人の流れの関係で、新型コロナウイルス感染症は3か月という瞬く間に世界中に広がり拡大し、日本においても全土を覆う感染症となつてしまった。パンデミックとはギリシャ語で、パンは「すべての」デモスは「人々」で、世界的な感染症の大流行を意味する。前述の『感染症の世界史』によると、アテネとスパルタの攻防でギリシャ最大のポリリス、アテナイでスパルタ軍が、死んだ兵士の死体や衣服などを放り込んだことから、瞬く間に感染症が襲い「アテナイのペスト」と呼ばれた歴史がある。今日では、これが天然痘ではなかったかといわれている。

その後、ペスト菌のDNAは中央アジア付近にあり、モンゴル軍や遊牧民の移動に伴って東ヨーロッパにも広がったことが知られている。

西暦541年にナイル川河口の都市、ペルシウムではじまったペストは瞬く間に東ローマ帝国の首都コンスタンチノーブルに広がり、更にヨーロッパ中に拡大したことで知



十字軍の地図



スペイン風邪
マスクする日本の女性

られている。更に11世紀から13世紀にわたり約200年間十字軍の遠征が行われ、ペスト菌は再びヨーロッパ全土で猛威を振るつた。14世紀には蒙古軍がシルクロードのキルギスからヨーロッパにペスト菌を運び、1347年にはヨーロッパ中がパンデミックとなった。この14世紀のペストは世界中に

大流行し、世界の総死者は7千5百万人から2億人といわれており、ヨーロッパでは全人口の3分の1が亡くなったともいわれている。19世紀においてもペストは中国を起源として世界中に拡大し、北里柴三郎は政府により香港に調査派遣されてペストの病原菌を発見し、抗血清療法を確立した。

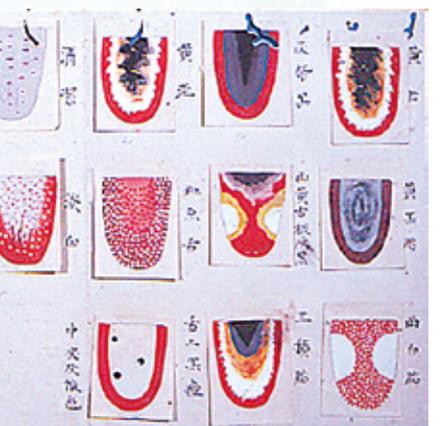
その後、1918年に米国のカンザス州ファンストン基地の診療所ではじまったスペイン風邪は、カナダ雁が越冬のため飛来、豚に感染して体内で変異し人に感染したことで知られており、今日ではインフルエンザであることも知られている。第一次大戦で米軍の遠征軍に感染症が拡大し、瞬く間に世界中に広まった感染症がある。この病原体は、今日ではA型H1N1亜型鳥インフルエンザ

であるが、当時このウイルスの免疫を持つていた人がいなかったため大流行となった。スペイン風邪の所以は、当時スペインが第一次世界大戦で中立国だったことから発表したので「スペイン風邪」の俗称で呼ばれているが、発生国は米国である。世界中で5億人が感染し、5千万人が亡くなった。日本においても3波（1918年〜1920年）に襲われ、2380万人が感染し39万人が死亡した。平均死亡率は1.6%であった。

これに比べて新型コロナウイルス感染症の死亡率が2〜3%を超えるということは、かなり毒性が高いもので、単なる風邪どころではない状況となっている。インフルエンザの死亡率は0.1%といわれており、極めて厳しい状況が容易にわかる。歴史が証明していることを学ばなければいけない。

のラムセス5世のミイラの顔に天然痘の跡が見られることから、かなり古い起源のウイルスであることが分かる。またコロナブスの新大陸発見とともに中南米に広がり、アステカ帝国、インカ帝国の滅亡につながったことは有名である。

日本における天然痘は、仏教伝来の頃と共に発生し、特に735年〜738年にかけては、西日本から畿内にかけて大流行し、政権担当の藤原4兄弟が相次いで死去し、当時の日本の総人口の35%が感染したといわれ、日本中が大混乱に陥った。聖武天皇は仏教の帰依を深め度々遷都するとともに、東大寺盧舎那仏（大仏）を建立した。



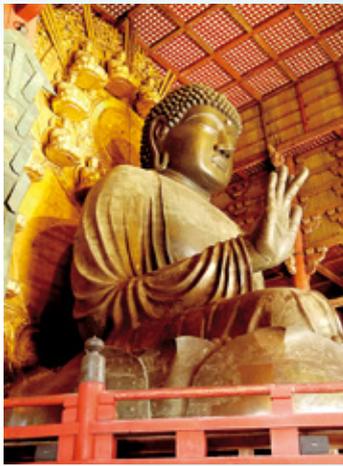
痘瘡唇舌鑑図 辛島家 (大江医家史料館蔵)

た。江戸は9年遅れて、お玉が池に幕府の種痘所が大槻俊斎や伊東玄朴たちにより開設され、緒方洪庵を迎え入れて、中津藩からは田代基徳が洪庵を支えた。この種痘所は医学校となり、後の東京大学医学部となった。中津においても、上勢溜に医学館が建設され、後に片端町に中津医学学校が出来ることとなる。

このことから、この牛痘の有効性が国際的に広がり、ついに中津にも、その恩恵が来る時がきた。中津藩医・辛島正庵（5代）は長男を天然痘で亡くした。その自宅旧居から500冊に及ぶ痘瘡関連図書が発見され、中津市に寄贈された。1849年7代辛島正庵が9名の医師とその子供たちを連れて長崎に出向き、最初の種痘を行い、直ちに中津に帰り2千人の種痘を行った。その後、佐賀藩や福岡藩も続き、大坂、京都も行つ

この様に、パンデミックとの闘いは必ずしも負だけではない。新しい学問の砦を築くという事においても、素晴らしい役割を果たすことがあると分かった。

米国のバイデン新大統領は、100日間で2億2千万人にワクチン接種を実施し有効率は95%、中和抗体の持続性が1年間を超えるというデータを出されている。しかし、集団免疫の状態になるには、接種率が人口の70%を超えることが条件となっており、日本はまだ4%程度しか進んでおらず、これから私たちも地方においてワクチン接種を早急に進め、一刻も早く、このパンデミックを鎮めたいと考えている。



東大寺の大仏

歴史上で最も有名なウイルス感染症が天然痘（痘瘡）である。この天然痘は紀元前1157年前に埋葬されたエジプト

この時の銅の提供を宇佐神宮がおこない、日本各地に国分寺を建立させた。その後も治療法の見つからない天然痘は、赤絵などによる呪術的な予防法が行われていたが、1796年、エドワード・ジェンナーがフィリップス少年に牛痘を接種し

たことから、この牛痘の有効性が国際的に広がり、ついに中津にも、その恩恵が来る時がきた。中津藩医・辛島正庵（5代）は長男を天然痘で亡くした。その自宅旧居から500冊に及ぶ痘瘡関連図書が発見され、中津市に寄贈された。1849年7代辛島正庵が9名の医師とその子供たちを連れて長崎に出向き、最初の種痘を行い、直ちに中津に帰り2千人の種痘を行った。その後、佐賀藩や福岡藩も続き、大坂、京都も行つ

日本臨床整形外科学会雑誌に 論文が掲載されました

クリニックリハビリテーション科 副主任 辛嶋 良介



この度日本臨床整形外科学会雑誌にDynamic ultrasonography evaluation of the scapulohumeral joint during shoulder elevation.

“超音波を用いた挙上における肩甲上腕関節の動態評価”が掲載されました。

エコーは近年整形外科分野でも多く用いられており、その場でパッと使えて動きも観察できるなど、非常に利便性の高い検査機器です。今回の報告は、健常肩を対象として肩を挙上する動きをエコーで腋から観察すると、挙上に伴い上腕骨頭が関節の受け皿の辺縁から徐々に突出することが確認できるという内容です。

肩の痛みや運動制限を愁訴とした患者さんに対して運動療法が行われることは多く、腱を傷めたり、関節が硬くなってしまう際に、関節の中で骨頭がどの様に動いているのか疑問に思っていました。私たち理学療法士は関節の角度の計測や動かした時の抵抗感など触ることでイメージしていますが、今回の結果を応用する事で“硬い”や“動かない”を視覚的に確認する方法になり、治療時のポイントになる可能性があると考えています。得られた知見を今後の臨床に生かし、少しでも早い回復のお手伝いができる様に精進してまいります。

新型コロナワクチン接種について

事務局 総務部長 吉田 公博

中国武漢に端を発した新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は瞬く間に世界中に拡大・パンデミックとなりました。第二波、第三波と感染者数増加の波が来るたびに日常の風景は制限されました。

そのような中、希望の光・救世主として登場したのがCOVID-19の予防ワクチンです。開発早々から国民へのワクチン接種を開始し、接種率59・4%

まで終了したイスラエルにおいては、パンデミックも今や昔といわんばかりに日常の生活を取り戻しています。

遅ればせながらと始まった日本国内のワクチン接種は、潤沢にワクチンが確保できないためか、当初優先接種者とされた医療従事者である当院職員への接種が、予定より1カ月以上遅れたの開始となりました。

接種開始前日に初めてワクチンが届き、薬剤科職員が緊張しながらバイアル・シリンジ数などをチェックした後受け取りました。翌4月20日、看護部熟練



接種風景



者達がさらに緊張する中、手順一つ一つを互いに確認しながら正確に人数分の接種用シリンジの準備を終え、当院接種第一号の川島院長を皮切りに、職員約420名への接種が始まりました。

副反応については、特に高齢者よりも若い人達、1回目よりも2回目接種後に出やすいとの前情報通り、1回目接種後は接種部位の痛みで腕が思うように上げられないとの報告が多かったのですが、2回目接種後には痛みに加え、熱発、倦怠感、頭痛、嘔気などの報告が約2割の職員から出されました。私は情報通り痛みだけでしたが…

周りの人にうつさないためにと希望するほぼ全ての職員に院内接種を終える事ができホッとしています。

今後は一般の方への個別接種を6月1日より開始します。中津市、中津市医師会が進めるワクチン接種事業で、皆さんが一日も早く以前の生活を取り戻し、地域に活気が戻るよう、微力ではありますが法人として精一杯協力をしていきます。



ステイホーム



回復期センター長
田村 裕昭

日本が本格的にコロナの影響を受け始めてから1年以上が経過しましたが、今後もまだ先行き不透明で、予断を許さない状況が続きます。このコロナ禍にあつて様々なカタカナ語が飛び交うようになり、パンデミック、クラスター、ソーシャルディスタンス、ロックダウン等々、1日に1回は見聞きする恒常語になってきました。



「ステイホーム (Stay Home)」もその一つですが、直訳すると気持ち的には「家に居よう」ですが、強く言えば「家に居る」で婉曲に言えば「外出自粛」になるでしょうか。最近「自粛疲れ」との言葉もあちこちで聞かれるようになり、半ばあきらめがちに「もう少し」と奮起を促す向きもあります。中には心にもゆとりがなくなり、開き直りの言動を見聞することも少なくないようです。病院や介護施設には多くの高齢者の方々が入院・入所されていますが、ご家族や友人などとの面会もままならず、オンラインやガラス越し

の面会などである程度の対応はされていますが、直接のコミュニケーションがゆつくりとできない切なさほもどかしい思いです。公民館などでの活動を通じての高齢者の方々の交流の場も少なくなり、社会的孤立による心身への悪影響が危惧されます。「ステイホーム」には、鳥などが巣にこもる「巣ごもり」の意味もあり、巣ごもりとなると子育てをしている家族の営みなども想像され、ポジティブにとらえることもできそうです。ハウスは家の建物のイメージですが、ホームは、住まい、家庭、故郷、本国など

の意味で使われ、時間(空間)とぬくもりが感じられ、ホームステイ、ホームシック、マイホーム、ホームアローン、アットホームなどの言葉には、家族や人と人とのつながり、コミュニティとの関わりなどが連想されます。マスクで相手の表情が読み取りづらくコミュニケーションに微妙な変化を生じたり、お酒の席の会話で思わず本音を聞けることも少なくなったりで、心の機微にも触れづらくなりました。心をときめかして参加してきたお祭りや花火大会など、地域の連帯に繋がる多くの催しも中止になり、我慢のしどころです。こんな時こそ、閉塞感から自己中心に陥らず、家族や友人、職場の仲間や隣人など、社会の中で関り合う人々との「コミュニティ」を大切に継続しながら、人と心のつながりを主体的に



守っていききたいところです。過去の人類の感染症の歴史を振り返っても、人間社会は幾多の難局を克服してきました。感染拡大防止が目的の「ステイホーム」ですが、生活習慣の変化によるストレスの蓄積や運動不足などで、肥満や生活習慣病、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)などの健康被害につながる恐れもあります。コロナ禍にあつても、その時の流れに適切しながら、気持ちは引きこもらず「前向きで、健康的な巣ごもり」で乗り切りたいものです。

新任のご挨拶



医師 豊島 高正

はじめまして、私は産業医科大学出身で今年の4月から川島整形外科病院で勤務させていただきます。川島整形外科病院に来てから早く

も4カ月が経ちました。コロナ禍とういうこともあり、多くの病院行事が中止となり少し残念ですが、徐々に周囲の環境にも慣れてきた時分であります。この短期間でも外来診療や救急診療で多くの患者さんを診させていただきました。その中で直属の上司に当たる古江先生、後藤先生をはじめとして多くの先生方から丁寧にご指導いただき、日々多くを学ばせていただき大変感謝しております。これから

も一層医療に励んでいきたいと考えております。こちらの病院に来て強く感じたことは、川島整形外科病院が地元の方から頼りにされている、地域に根付いた病院であるということでした。1年ほどの勤務で短い期間となりますが、そういった患者さんの信頼、期待に応えられるように、この地域に医療に精いっぱい尽力していきたいと考えております。

新任のご挨拶



医師 岡本 将希

今年度より川島整形外科病院にて研修させて頂くことになりました。岡本将希と申します。中学から父の仕事の都合で東京に移ったので関東で

の生活の方が長くなってしまいました。出身は福岡県です。九州にまた戻ってきて少し懐かしさを感じております。

整形外科医としてはまだまだ駆け出しですが、指導医の佐々木先生を始め、上級医やコメディカルの方々に支えて頂き充実した研修生活を送らせて頂いています。できる限り多くのことを吸収し成長できたらと思っております。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯努力して参りますので宜しくお願ひ申し上げます。

職歴としては、母校の東京医科歯科大学整形外科に入局し、現在後期研修二年目になります。治療によって機能予後を改善し、患者さんの生活をより豊かにすることができると点にやりがいを感じて整形外科の道に進むことに決めました。

整形外科医としてはまだまだ駆け出しですが、指導医の佐々木先生を始め、上級医やコメディカルの方々に支えて頂き充実した研修生活を送らせて頂いています。できる限り多くのことを吸収し成長できたらと思っております。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯努力して参りますので宜しくお願ひ申し上げます。

新人歓迎 ピクニック

看護部 湯越 美樹

2021年4月10日(土)、新人歓迎ピクニックで八面山平和公園に行き、戦争の時のお話を聞きました。まだ自分の知らない中津の歴史が沢山ある事が分かりました。この平和公園は、日米戦没者の慰霊と世界平和を祈念し整備された場所だと初めて知ることが出来ました。初めて八面山平和公園記念館を訪れて、米軍の方達の写真が飾られていたり、手紙や飛行機の模型、千羽鶴、遺書が飾られていたりとても歴史の勉強になりました。高校生の時以来、平和を学ぶことの出来るこの場所を訪れ、お話を聞き、命の大切さを改めて感じました。千羽鶴を見て、小学生の時に見た、小学生の時に見たことを思い出して、懐かしさを感じました。千羽鶴は折りや願



いごと、病氣回復などの思いを込めて作りますが、ここでの千羽鶴は平和への願いが込められた千羽鶴なのかなと思いがながら見ていました。平和公園で食べるお弁当はとっても美味しかったです。入職して仲良くなった同期や初めて話す方と色々な話をして仲を深めることが出来ました。コロナ禍のため、食事中は話すことがあまりできず残念でしたが、その前後に話す機会があり交流が沢山でき楽しい歓迎ピクニックでした。



コロナなんか 負けないぞっ！

介護老人保健施設なのみ
事務 柚木 尚美

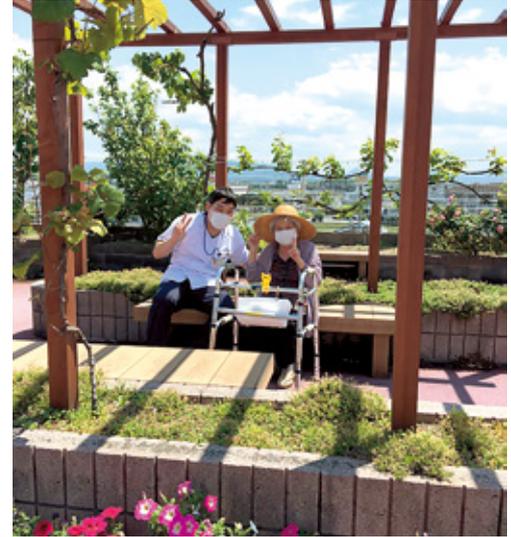


『新型コロナウイルス感染症』による社会的問題が多
くの影響を及ぼしています。
なにもにも感染リスクの
高い要介護高齢者様が多数
入所しています。介護を提

供する職員は入所者様と日
常的に長時間接するため、
特に注意して行動している
毎日です。
『利用者様から感染者が
でない』『職員自らが感染

様においては、
限られた施設の中の空間で
お元気に過ごされて
おります。手や足・
からだ全体を動かし、
暑い夏を乗り切る為
にしつかり水分補給
を行い、感染予防を
して備えている毎日
です。

者・濃厚接触
者にならない』
ことを強く願
い、常に緊張
感を持ち感染
予防対策を実
行しながら
日々の介護に
あたっている
現状です。
また利用者



なのみでは専門的
リハビリだけでなく、
楽しく生活リハビリ
を行う一つとして『ブ
ロの演奏者（リチャー

ご利用者様・ご家族様
は面会・外出制限が続く中、
精神的ストレスを最小限に
出来るようリモート面会を
予約制で対応しておりま

ド先生）による音楽療法』
や『小集団で行う体操』な
ど健康増進・生活の質向上
に力を入れております。お
天氣の良い日は麦わら帽子
をかぶり、庭園でひなた
ぼっこをして『気持ちいい
ね〜♪』と笑顔いっぱい
です。

す。今後も職員一丸となり
『新型コロナウイルス感染
症』防止対策をしつかり実
践し、終息まで全力で質の
高い施設サービスの提供を
目指して参ります。



膝関節を自分で守るひと工夫

病院リハビリテーション科 奥村 晃司

膝関節の運動はどうやったらいいのですか？という質問をよく受けます。そこで膝を動かす筋肉の中で、膝を伸ばす運動を紹介したいと思います。膝を伸ばす筋肉には、大腿四頭筋という筋肉があります。この筋肉は文字通り4つの頭をもち、骨についている場所が微妙に違います。これにより膝を伸ばす角度によって筋肉が効率よく働くのです。

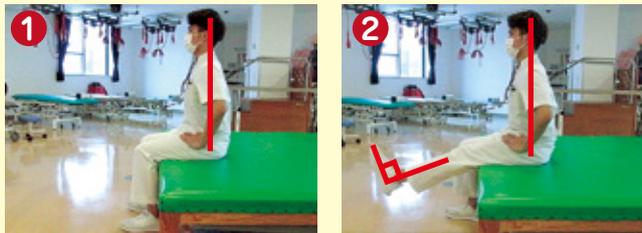
膝が伸ばしにくい場合には、①膝を伸ばす筋肉自体の弱さがある場合があります。また、②膝を伸ばす筋肉の弱さだけではなく、骨盤の位置によっても膝がのびしにくい場合もあり、膝を伸ばしきるための筋肉が弱っていることも考えられます。このため膝関節を伸ばす運動を行う場合には、単に膝を伸ばすことだけが運動になるのではなく、ひと工夫が必要となります。

1 膝を伸ばす筋肉自体の弱さがある場合の膝を伸ばす工夫



- ①できるだけ椅子に深く座り、身体と骨盤を丸めるように意識します。
- ②次に身体、骨盤を丸めたまま②のように膝を伸ばし、太ももの前が働くことを意識します。

2 膝を伸ばす筋肉の弱さと、骨盤の位置を変えながら膝を伸ばしきる筋肉が弱っている場合の膝を伸ばす工夫



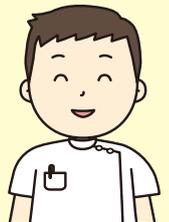
- ①できるだけ椅子に深く座り、身体と骨盤をできるだけまっすぐに姿勢よく座ることを意識します。
- ②次に身体、骨盤をできるだけまっすぐにしたまま、②のように膝を伸ばし、太ももの前が働くことを意識します。できるだけであれば、膝を伸ばす際に足は上に向け足首が直角になるように保持して下さい。

3 歩く動作や立ちしゃがみの時に膝を伸ばす筋肉を働かせる工夫



- ①できるだけ椅子に浅く座り、身体と骨盤をできるだけまっすぐに姿勢よく座ることを意識します。
 - ②次に身体、骨盤をできるだけまっすぐにしたままの状態を維持して、踵で地面を押しするようにして力を入れます。太ももの前が働くことを意識し確認します。図のように少しずつ膝を伸ばし、膝を伸ばした状態でも太ももの前に力が入るかを確認します。できるのであれば、足は上に向け、足首が直角になるように保持し、踵で地面を押しように力を入れて下さい。
- A また、この運動を行う場合には、正面からみた場合に、太ももとすねと足がまっすぐになるように維持して下さい。

膝を伸ばす運動を行う際、回数は疲労感がなく、楽にできる回数から運動を始めて下さい。
一日に何度も繰り返すことをお勧め致します。



（10月・5月）実施している自見川清掃ですが、昨年の秋に予定していた清掃は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動を中止せざるを得ない状況でした。春は地域の方々よりご依頼もあり、清掃の参加人数を30人程に制限し活動を行うことを決定しました。主な作業内容は、建物周辺と川の中の雑草やゴミ、藻や流れてきた石などの回収です。雑草に関しては、前回の活動が中止になった為、かなり生い茂っており、回収した袋の量が20袋近い量になり、参加して下さった職員の方々のがんばりのおかげで40分程で作業を終えることが出来ました。

最後になりますが、美化委員長として今年度たくさんの方々の活動を行って頂きましたが、委員長交代前、最後の活動の自見川清掃をこうして無事に終えることができ、美化委員会のメンバーをはじめ、たくさんの方々の活動に参加して下さいました。方々に感謝しています。

2021年5月上旬、地域の社会奉仕活動の1つである自見川清掃を行いました。

活動予定だった日は朝から雨が降っており、活動を実施出来るか分からない状況でしたが、お昼過ぎより徐々に天候も回復し、活動開始の予定時刻には青空が顔をのぞかせるくらいまで晴れてくれました。毎年2回



自見川清掃を終えて

美化委員長 野依 大希

院内勉強会

モーニングセミナー

- 2021.3.19
「一年間を振り返って」
濱田医師
- 2021.4.16
「しびれについて」
古江副院長
- 2021.5.21
「大腿骨近位部骨折－自験例の検討－」
本山副院長

カワシマハンドセラピー研究会

- 2021.3.15
症例報告
石井・奥貞作業療法士・岸本リハビリテーション部副主任
「ばね指（狭腱性腱鞘炎）について」
岸本リハビリテーション部副主任
- 2021.4.19
「症例報告」
川端・中埜作業療法士
「橈骨遠位端骨折（分類、診断、治療）」
川端作業療法士
- 2021.5.17
「症例報告」
奥貞・榎木作業療法士

川島肩をカタろう会

- 2021.3.22
「Shrug signについて」
橋本裕司理学療法士
- 2021.4.26
「肩関節の可動域評価について」
三代理学療法士
- 2021.5.31
「肩甲骨骨折」
牟田口理学療法士

院外発表・講演

- 2021.3.5
EAファーマ株式会社 社内研修会 (Web)
「コロナパンデミックとその予防」
川島理事長講演
- 2021.3.14
第24回大分県作業療法士学会 (Web)
「右大腿骨頸部骨折を呈した全盲の症例に対する在宅復帰を目指した介入」
永田作業療法士発表
「長母指伸筋腱断裂に対する腱縫合術後のセラピー経験」
奥貞作業療法士発表
- 2021.3.27
第38回玄真堂友の会 (中津市)
「医学史から見たパンデミックの感染症とその行方」
川島理事長講演
- 2021.4.28
ファビオラ看護学校 講義 (中津市)
「ファビオラとコロナと感染症の歴史について」
川島理事長講演
- 2021.4.30
大分大学医学部 令和3年度「健康科学概論」(中津市)
「医学史からみたコロナパンデミック」
川島理事長講演
- 2021.5.13
健康長寿講話 (中津市)
「コロナの予防とワクチン」
川島理事長講演
- 2021.5.13
大阪医療福祉専門学校 (Web)
「整形外科病院で働く理学療法士の臨床」
奥村リハビリテーション部科長



膝関節勉強会

2021.3.10

「半月板損傷の術前リハで思うこと」

奥村リハビリテーション部科長

2021.4.14

「半月板縫合術について」

丸目理学療法士

2021.5.12

「変形性膝関節症に対する効率的筋力訓練」

鈴木理学療法士

医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2021.3.2

人工関節周囲感染症の診断において次世代シーケンシングは培養検査に優るとはいえない

川島院長

2021.3.9

人工関節周囲感染の診断に対する α デフェンシンの有用性

渡邊医長

2021.3.23

80歳より高齢の症例における初回のリバーstype人工肩関節置換術

佐々木診療部長

2021.3.30

PIP関節脱臼骨折に対する新しい創外固定器を用いた治療

後藤診療副部長

2021.4.6

全米高校生下肢スポーツ外傷の男女の発生率とパターン

本山副院長

2021.4.13

下肢骨欠損に対するIMT法の成績

古江副院長

2021.4.27

トラネキサム酸の単回投与は高齢患者の股関節骨折における失血と輸血率を効果的に減少させる

川島院長

2021.5.11

大腿骨近位部骨折において抗凝固薬の内服による手術待機時間の延長とそれに伴う死亡率について

渡邊医長

2021.5.25

初発の凍結肩に対する超音波ガイド下対ブラインドでの関節腔内副腎皮質ステロイド注射における前向き二重盲検無作為化試験

佐々木診療部長

論文（共同含）・誌上发表

- 川島真人：抗ウイルス剤に開発された「オゾンナノバブル」, タウンマガジン なかつ, Vol227, 3, 2021
- 川島真人：天然痘 見舞われた上杉鷹山の教訓, タウンマガジンなかつ, Vol227, 12-13, 2021
- 岸本進太郎, 古江幸博, 後藤剛, 井原拓哉, 川島眞之：基節骨骨折プレート固定術後患者に対する夜間装具の効果についての検討, 日本ハンドセラピィ学会誌：No13(2), 86-89, 2021
- Ryosuke Karashima：Dynamic ultrasonographic of the scapulohumeral joint during shoulder elvation, J.Jpn.Clin. Orthop.Assoc：46(1), 7-11, 2021

内科診療開始のお知らせ

当院では総合診療内科医・循環器内科医による
内科診療を行っています



診察日時 毎週火曜日

診察時間 午前 9:00～11:30 総合診療内科
午後 14:00～16:30 循環器内科

診察場所 川巖整形外科病院 外来

※かわしまクリニックではございませんのでご注意ください



ご不明な点がございましたらお近くの職員へお声掛けください

編集後記

盛夏の候、医療従事者の接種が終了し一般向けの方のワクチン接種が始まりました。でもまだまだマスクを手放して自由に動く状況にはなっておらず、子供たちがおもいっきり自由に元気に公園を走り回って遊べる日が待ち遠しくなりました。ラ・サンテは今年夏より新メンバーでの活動となりました。お役にたつ情報の発信ができるよう広報委員一同取り組んでまいります。また皆様からのご意見や投稿もお待ちしております。1年間よろしくお願ひします。

(T・T)

【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

〔患者様の権利〕

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

〔患者様の責務〕

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い